

# かんてつ 貫徹通信

発行責任者：おおや 徹

発行日 2011年2月 【第3号】

発行者 大矢 徹

連絡先 0466(23)5711

<http://ohyatoru.web.fc2.com/>

[mail:ohya.toru@gmail.com](mailto:ohya.toru@gmail.com)

## 安全・安心に暮らせるまち 『藤沢市』をめざします



2011年1月20日 藤沢駅南口にて政策ビラ配布

わたしは「全国に誇れる藤沢市」を実現するための政策として、「安全・安心に暮らせるまち」「いきいきと暮らせるまち」「共に生きるまち」の3点を柱とした総合的な政策を掲げています。

今回の『かんてつ 貫徹通信』では、そのひとつである「安全・安心に暮らせるまち」について、わたしの考えの一端をお示しさせていただきます。

ぜひ多くの皆さまにご覧いただき、ご意見等いただければ幸いです。

### 核兵器廃絶や航空機騒音のないまちづくりを推進します

- 核兵器や戦争のない平和な世界は全人類の願いです。しかし、残念ながら現在においても世界のどこかで争いがあり、核開発や核保有などによる「核の脅威」が絶えることはありません。

また、神奈川県は沖縄県に次ぐ第2の基地県と言われ、厚木基地の戦闘機による爆音など数多くの課題を抱えています。

『平和で静かな神奈川・藤沢』をめざすため、協力議員と連携し、核兵器の廃絶や米軍基地の撤去を求めるとともに、防音対策などの充実にとりくみます。

## 地球環境優先のまちづくり、自然環境の保全に努めます

- 現在、国においては温室効果ガスの削減目標を具体的に掲げ、「チャレンジ25」と言われる国民運動を展開しています。しかし、その認知度は低く、実効性が伴っているとは言い難い状況です。地球温暖化をはじめとする環境問題については、国民全体でとりくむ課題ではありますが、市民一人ひとりへの働きかけや意識啓発は自治体単位でとりくむべきものです。

住宅用太陽光発電システムや電気自動車導入助成の拡大など、環境負荷低減をめざした施策の充実を通じ、市民一人ひとりへの意識啓発を図ります。

- 環境負荷低減に向けて、企業への積極的な働きかけを行うとともに、環境保全・公害防止などにおける設備導入に対する助成・優遇措置を求めます。

## 地産地消を推進するとともに、より安全・安心な学校給食をめざします

- 産地偽装、消費期限の改ざんに象徴される「食の安全」問題が相次いだことから、「食」に関する安全意識が高まっており、安全で、安心して、美味しく食べられる食生活が求められています。

これらの問題を解決するための方策の一つとして「身近で顔の見える生産者の生産物を食卓へ」という地産地消を推進するため、藤沢市の「地産地消の推進に関する条例」が、より実効性を発揮するようとりくみます。

- また、心身の発達期である子どもの食生活はとりわけ重要であり、子ども達の安全・安心な食生活をささえるため、学校や保育園等において積極的に『顔が見える（生産者がわかる）市内の農水産物』の使用を推進します。

**ご意見等ございましたら、お気軽にお寄せください。**

とおる  
**おおや徹**  
プロフィール

### 【経歴】

1984 県立鶴嶺高校卒  
1988 日本大学生産工学部卒  
1989 藤沢市役所採用  
2010 藤沢市役所退職  
1996~ 湘南地域連合事務局長  
をはじめ労働組合役員を歴任

### 【生年月日】

1965年5月18日生 45歳

### 【趣味】

温泉、食べ歩き

### 【好きな言葉】

初心忘れるべからず